

## ●参考文献●

イエメンに関する参考文献は、残念ながら日本語ではほとんどない。英語のもので比較的読みやすいものも含めてテーマ別にいくつか紹介する。

◆日本語でイエメンに関しての知識を与えてくれるもの

酒井傳六『古代女王物語』、文春文庫、三四六一二、一九八六年。

(シバの女王についての記述がある)

小澤俊夫編訳『世界の民話・イエーメン』、ぎょうせい、一九八六年。

(ドイツの出版社のシリーズの翻訳。採話は南部イエメンからのものが多く、またドイツ語から翻訳しているため地名が不正確な例がいくつかある)

トーキル・ハンセン(伊吹寛子訳)『幸福のアラビア探検記』、六興出版、一九八七年。

(十八世紀のデンマーク探検隊に加わったニールを描いたノンフィクション。当時のイエメンの状況がいきいきと描かれている)

フレッド・ハリデー(岩永博他訳)『現代アラビア』、法政大学出版会、一九七八年。

〔「反帝国主義」英国人によるイエメン・オマーンの近現代史解釈。記述にやや片寄りはあるが、基本的な情報を得るには有益〕

森本哲郎・片倉もと子・NHK取材班『海のシルクロード②・ハッピーアラビア』、日本放送出版協会、一九八八年。

（放映された番組の取材記を中心とした紀行。写真が多く盛り込まれており、記述にも思いこみや誤解が少ないので入門編として利用できる）

英文では多くの研究があるが、代表的なものをいくつか挙げる。  
まず全般的な研究書としては以下のものがあげられる。

◆イエメン全般について

Daum, Wener, ed., *Yemen: 3000 Years of Art and Civilization in Arabia Felix*, Innsbruck, Pinguin, 1987.

（一九八七年四月から約一年間にわたって西ドイツで開催された「大イエメン展」を契機にまとめあげられた研究書。対象分野はほとんどすべての部門にわたっている。四八三ページ）

◆サナアについて

Serjeant, R. B. and Ronald Lewcock, eds., *Sana'a an Arabian Islamic City*, London, World of Islamic Festival Trust, 1983.

(南アラビア学の大家によってまとめあげられたサナアに関する総合研究。水準も高く専門性が高いがサナア研究には不可欠。六三二ページ)

◆ティハマについて

Stone, Francine, ed., *Studies on the Tihama*, Essex, Longman, 1985.

(一九八二年のティハマ地方学術調査の報告書。豊富なイラストがあり比較的読みやすい。ティハマの歴史、風俗、建築などから動植物まで網羅する)

◆イエメン建築について

Veranda, Fernando, *Art of Building in Yemen*, Cambridge, MIT Press, 1982.

(イエメン各地の伝統的な石積み・日干し煉瓦積み建築をタイプ分けして断面図、写真を豊富に添えて解説した専門書)

◆やや詳しい観光ガイド

Piepenburg, Fritz, *New Traveller's Guide to Yemen*, Sana'a, Yemen Tourist Co., 1987.

(歴史も簡便にまとめてあり最も手ごろな入門書。南イエメンもカバーしている。サナアなどの主なホテルで入手可能)

Chawszcza, Joachim, *Inside Guides Yemen*, Singapore, APA Publications, 1992.

(前掲のものよりやや詳しいガイドブック。旅行の準備用には向いている)

◆近・現代政治史

Stookey, Robert W., *Yemen: The Politics of the Yemen Arab Republic*, Boulder, Westview Press, 1978.

(元駐イエメン米国大使であった著者が、古代史から説き起こして北イエメンの政治史を整理している。大きな流れをつかむのに便利)

Macro, Eric, *Yemen and the Western World Since 1571*, London, C. Hurst, 1968.

(コーヒー交易港としてモカに欧米人が訪れるようになって以降のイエメンと欧米列強との外交史)

Wenner, Manfred W., *Modern Yemen 1918-1966*, Baltimore, Johns Hopkins Press, 1967.

(イマーム・ヤヒヤによるトルコからの独立以降、共和国革命に至るまでの近代史。現代イエメン社会の前提条件を理解するうえで重要)

Bidwell, Robin, *The Two Yemens*, Harlow, Longman, 1983.

(南イエメンにも視野を広げてイエメン政治史を整理。南北分離時代についての理解を深めるのに便利)

◆社会・人類学的研究

Dresch, Paul, *Tribes, Government, and History in Yemen*, Oxford, Clarendon Press, 1989.

(イエメンの「部族」の行動様式と歴史、国家と部族の政治関係を理解するためには不可欠な書。現在のところ外国人による「部族」研究の最高水準だが英語が難解)

Stevenson, T. B., *Social Change in a Yemeni Highlands Town*, Salt Lake City, Univ. of Utah Press, 1985.

(イエメン北部のアムランでのフィールド・ワークから町の住民の行動様式、イエメン社会の階層構造について検討。出稼ぎの影響についても言及している)

Dorsky, S., *Woman of Amran: A Middle Eastern Ethnographic Study*, Salt Lake City, Univ. of Utah Press, 1986.

(前掲のStevensonの同伴者によるアムランの民族誌。男性にはけっして見ることのできない女性の世界がいきいきと描かれている。イエメン研究は男女ペアでないとは半分しかできないということを認識させる書)

◆女性について

Makhlouf, Carla, *Changing Veils: Women and Modernization in North Yemen*, London, Croom Helm, 1979.

(サナアなど都市の女性の行動様式を近代化と関連づけて検討。著者は社会人類学者)

Myntti, Cynthia, *Women and Development in Yemen Arab Republic*, Eschborn, Germany, GTZ, 1979.

(著者はドイツの援助機関GTZで活躍。援助プロジェクトに関連づけて開発の進展が女性の生活にどのような影響を与えるかを検討している)

◆カートについて

Weir, Shelagh, *Qat in Yemen: Consumption and Social Change*, London, British Museum Publications, 1985.

(カートの社会的機能を中心にしながらイエメン社会を社会人類学的な視点から観察。

カートの経済的効果についても言及)

◆経済・社会状況について

Pridham, B. R., ed., *Economy, Society and Culture in Contemporary Yemen*, London, Croom Helm, 1985.

(一九八三年にエクセター大学で行われた「現代イエメン学会」での報告をまとめたもの。南北イエメンの経済開発、農業、出稼ぎ、教育、医療などに関する二一の論文が収録されている。同学会での政治に関する報告も同じ編者、出版社から一九八四年に、

*Contemporary Yemen: Politics and Historical Background* として出ている)

Tutwiler, R., and S. Carapico, *Yemeni Agriculture and Economic Change*, Sana'a, American Institute for Yemeni Studies, 1981.

(伝統的な農業の変化をアムランとイブの二つの町の周辺の事例の比較をとおして検討)  
◆出稼ぎについて

Swanson, J. C., *Emigration and Economic Development: The Case of the Yemen Arab Republic*, Boulder, Westview Press, 1979.

(イエメン人のサウジアラビアへの出稼ぎ流出とその経済的影響を整理したもの)

Steffan, Hans, *A Contribution to the Population Geography in the Yemen Arab Republic*, Switzerland, Druckerei Wetzikon, 1979.

(一九七五年のセンサスをベースにした博士論文。人口移動と出稼ぎに関してのデータが豊富に提示されている)

◆アラビア語(イエメン方言)の教科書

Francis, F., and M. Frost, *The Macmillan Arabic Course Book 2 Introduction to Peninsular Arabic*, London, Macmillan Press, 1981.

(イエメン方言をカバーした数少ないテキスト。現地で実践しながら学ぶと効果的)

◆経済・政治に関するアップデートな情報

*Middle East Economic Digest (MEED)*, London.

(中東の経済中心の週刊誌、経済指標、石油関連情報、入札情報などを網羅。政治的に大きな変化もフォローしている。経済情報の信頼性は高い)

*Economist Intelligence Unit (EIU), Country Report Oman/Yemen*, London.

(経済中心の四半期情報誌。主要経済統計を四半期ごとに発表し、関連する解説も付記。統計情報は便利だが、最近時の統計については推計が多く信頼性に欠ける。ただし長期的な動向を捉えるには有益)

*Central Planning Organization (旧北イエメン), Statistical Year Book.*

(イエメン政府の公式統計。ただし発行がかなり遅れるので最近時の統計は、MEEDなどの推計で補わざるを得ない。統一後は開発計画省が発行している)

*International Monetary Fund, International Financial Statistics*, Washington, D.C.

(IMFの公式統計月報。為替レート、国際収支、政府財政などが統一様式で整理されており、他国との比較には便利。イエメンに関しては発表まで二年近いタイム・ラグがある。最近時の動向はつかめない。発表された数値に関しての信頼度は最も高い)

世界銀行『世銀開発報告』。



(毎年秋に発表される世銀の報告。巻末に世界各国の政治・経済指標が一覧表になっている。一人当たり国民所得、平均寿命などの基礎データを得るのに便利。ただしここでもイエメンに関しては今のところ発表までのタイム・ラグが二年以上ある)

*Arab News*, London.

(ロンドン発行のアラブ世界に関する英字日刊紙。サウジアラビアのニュースが中心だが、最近はいエメン関係の記事も増えている。立場が親サウジアラビアであることを割り引いて情報を理解すれば有益)

※以上六つの資料はアジア経済研究所の図書館あるいは統計調査部で閲覧できます。

*Yemen Times*, Sana'a.

(一九九一年発刊のイエメン唯一の英字週刊新聞。汚職、経済政策などで政府批判の急先鋒であるが、イエメンの知識人の問題意識を理解するうえでは有益。郵送による購読可能)

*Daily Report: Near East and Africa*, Washington, D.C.: Foreign Broadcast Information Service.

(米国防務省の海外放送傍受情報サービス。国営サナア放送の傍受情報を中心にフォローしている。政治関連の事実関係の整理などに有益)